
日本経済展望

2023年3月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<https://www.jri.co.jp/report/medium/japan/>

目次

- ◆現状……………p. 1
- ◆景気分析……………p. 3
- ◆トピックス……………p. 7
- ◆見通し……………p.10
- ◆内外市場データ……………p.12

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

総括	北辻 宗幹	（ Tel: 080-3727-6569 Mail: kitatsuji.kazuki@jri.co.jp ）
現状分析	古橋 健司	
家計部門	小方 尚子	
外需	内村 佳奈子	
金融	白石 尚之	

- ◆本資料は2023年3月13日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。
- ◆日本総研・調査部の「経済・政策情報メールマガジン」は下記urlから登録できます（右側QRコードからもアクセスできます）。
新着レポートの概要のほか、最新の経済指標・イベントなどに対するコメントや研究員のコラムなどを随時お届け致します。
<https://www.jri.co.jp/company/business/research/mailmagazine/form/>

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがあります。本資料の情報に基づき起因してご閲覧者様及び第三者に損害が発生したとしても執筆者、執筆にあたっての取材先及び弊社は一切責任を負わないものとします。

経済・政策情報メール
マガジン配信中！



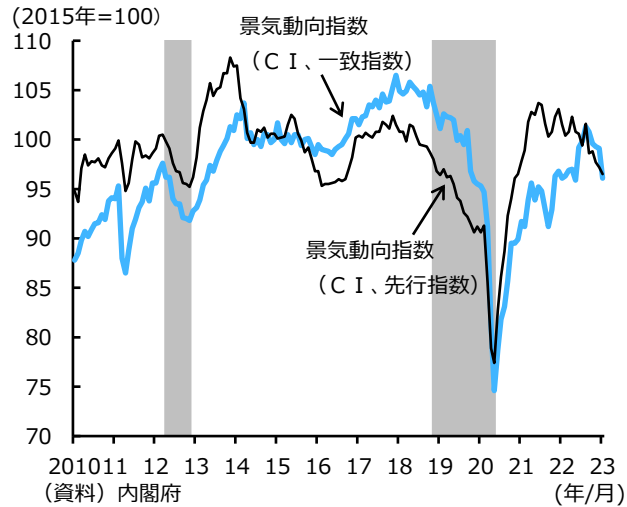
Twitterアカウントも
開設しました！



概況：景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直し

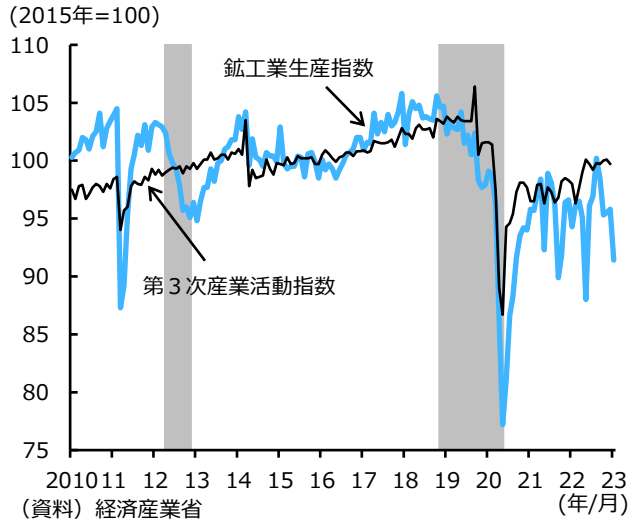
景気

景気動向指数は、一致指数、先行指数ともに低下



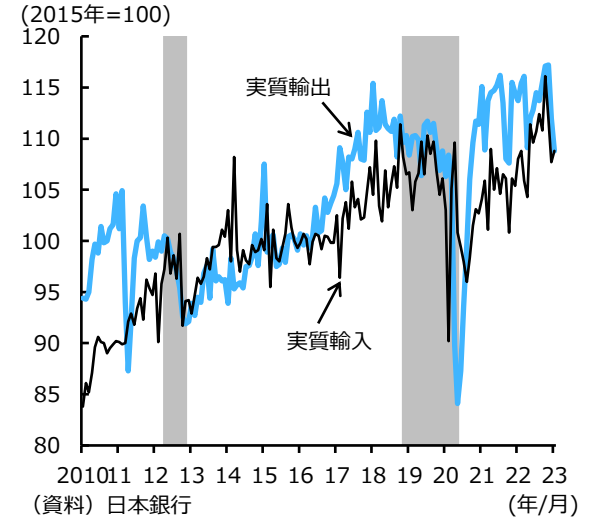
企業

鉱工業生産は弱含み
第3次産業活動は持ち直し傾向



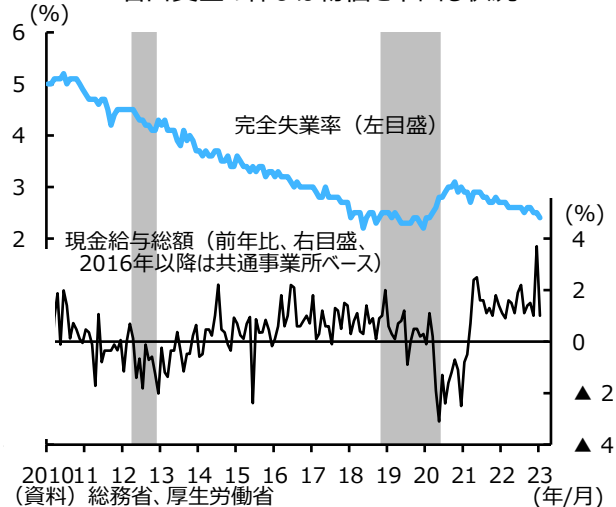
外需

輸出は海外経済の減速を背景に減少
輸入は対欧米を中心に減少



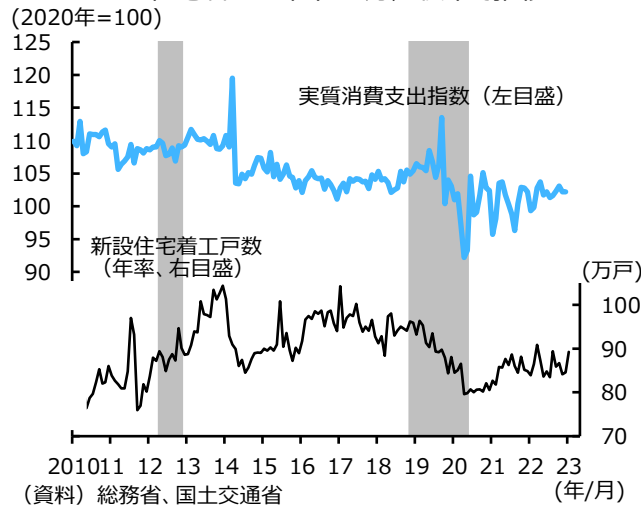
雇用所得

失業率は2.4%へ低下
名目賃金の伸びは物価を下回る状況



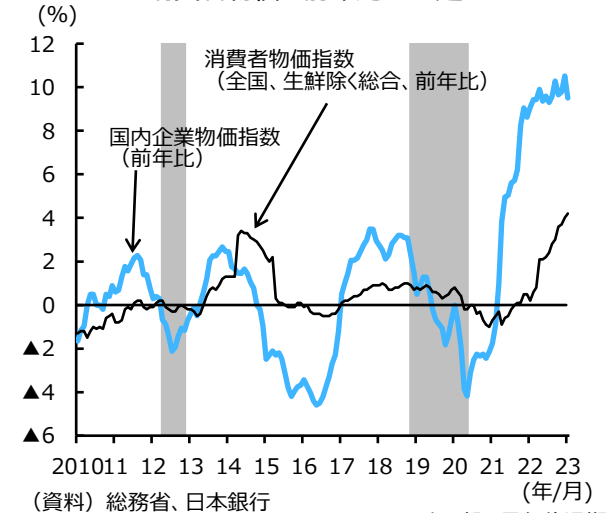
家計

消費は振れを伴いながらも緩やかに増加
住宅着工は年率80万戸後半で推移



物価

企業物価の伸びは高止まり
消費者物価は前年比4%超



※シャドー部は景気後退期。

実質GDPは小幅ながらも2四半期ぶりのプラス成長

◆最終需要は堅調

2022年10～12月期の実質GDP成長率は、前期比年率+0.1%と、小幅ながらも2四半期ぶりのプラス成長。在庫投資の減少が成長率を大きく押し下げた一方、最終需要は増加。全国旅行支援策が追い風となり、個人消費が増加したほか、インバウンド需要の回復がサービス輸出を押し上げたことを受け、純輸出もプラス寄与。

◆製造業は弱含み

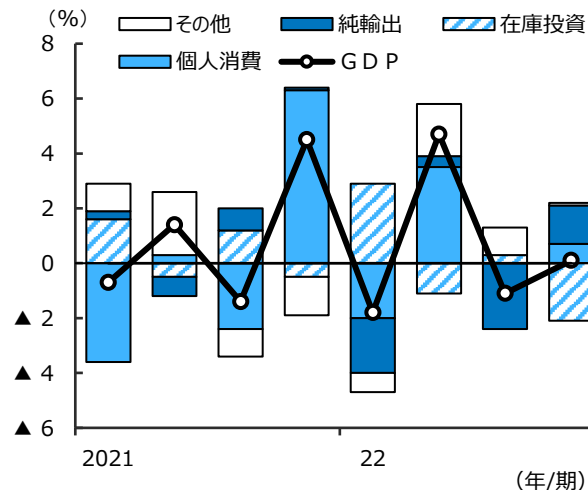
2023年1月の鉱工業生産指数は前月比▲4.6%と3ヵ月ぶりの低下。業種別にみると、自動車工業や生産用機械工業など幅広い業種で減産。海外経済の減速や中国の春節の影響で輸出が減少したことが背景。2023年1月の出荷のうち、輸出向けが同▲9.7%と大きく減少。

先行きの生産計画では2月は前月比+8.0%、3月は同+0.7%の増産予定。もっとも、海外経済の減速などが生産活動の下押しに作用すると考えられ、計画値ほどの高い伸びの実現は見込み薄。

◆景況感は改善

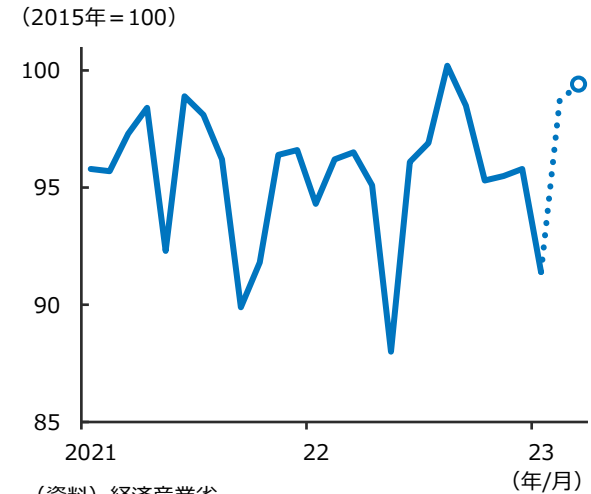
2023年2月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは前月差+3.5ポイントと4ヵ月ぶりの上昇。コロナ禍から経済活動の正常化が進んでいることを受け、家計動向関連、企業動向関連、雇用関連すべてのDIが改善。

実質GDP成長率（前期比年率）



(資料) 内閣府

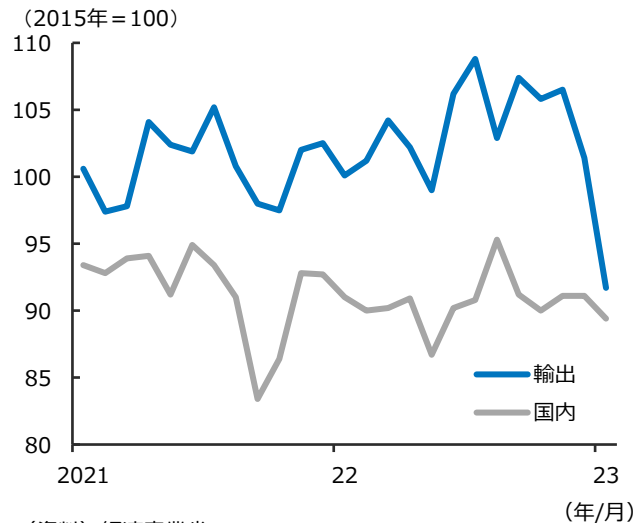
鉱工業生産指数（季調値）



(資料) 経済産業省

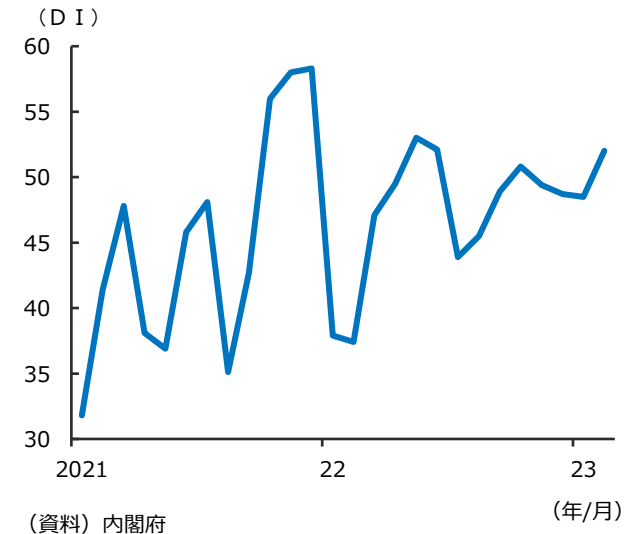
(注) 点線は、製造工業生産予測指数（2、3月）を基に先延ばし。

鉱工業出荷内訳表（季調値）



(資料) 経済産業省

景気ウォッチャー調査（現状判断DI、季調値）



(資料) 内閣府

財輸出の減少をサービス輸出の増加がカバー

◆財輸出は中国向けが大きく減少

1月の実質輸出は減少。世界的な財需要減速の影響がわが国の輸出にも波及。スマートフォンやパソコンなどの巣ごもり需要の終焉で、情報関連輸出が減少。グローバルな設備投資の増勢も弱まっており、資本財輸出が頭打ち。これに加えて、春節の影響で中国向けが大きく落ち込んだことも1月の輸出を押し下げ。財消費の勢いが鈍化している米国・欧州向けの輸出も減少。

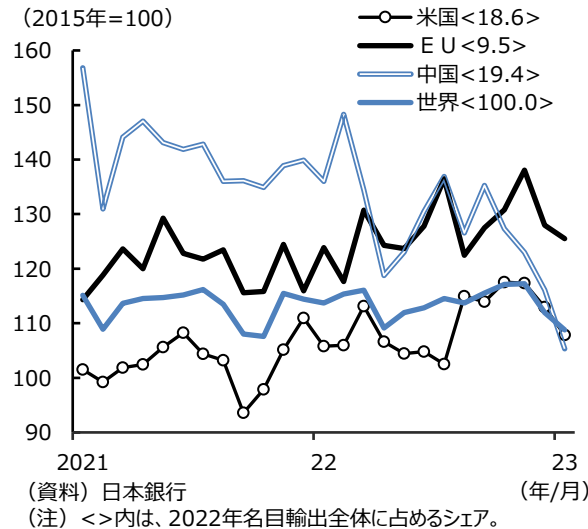
先行きを展望すると、世界的な財需要の弱さを背景に、財輸出は足踏みが続く見通し。ただし、経済活動の正常化が進む中国向けの輸出が持ち直すため、底割れは回避されると予想。2月の中国の製造業PMIは、2ヵ月連続で改善・悪化の分かれ目となる50を超える水準に。

◆訪日外国人数は回復が持続

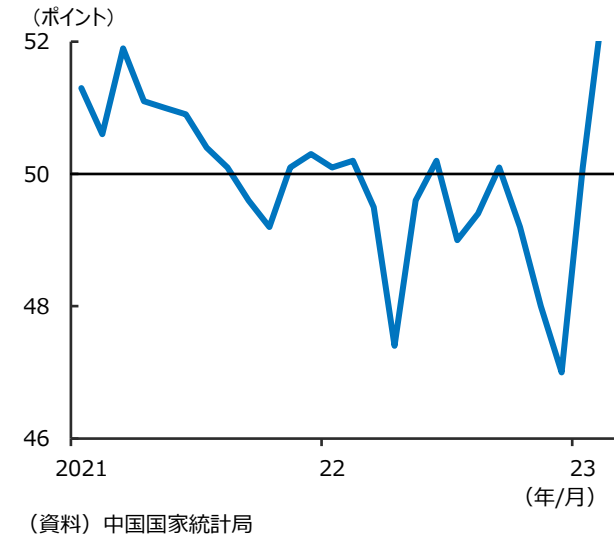
1月の訪日外国人数は149万人と、2019年対比で5割以上の水準まで回復。中国を除く東アジア諸国からの訪日客を中心に回復が進展。韓国や台湾はコロナ前の6～7割の水準に回復。ただし、コロナ前に訪日客の3割を占めていた中国に対しては、陰性証明書の提出を義務付けているほか、中国側でも日本への団体旅行が解禁されていないため、低迷が持続。

先行き、インバウンド需要は回復が続く見通し。日中両国の規制緩和が進むことで、中国からの訪日客も回復に向かう見込み。

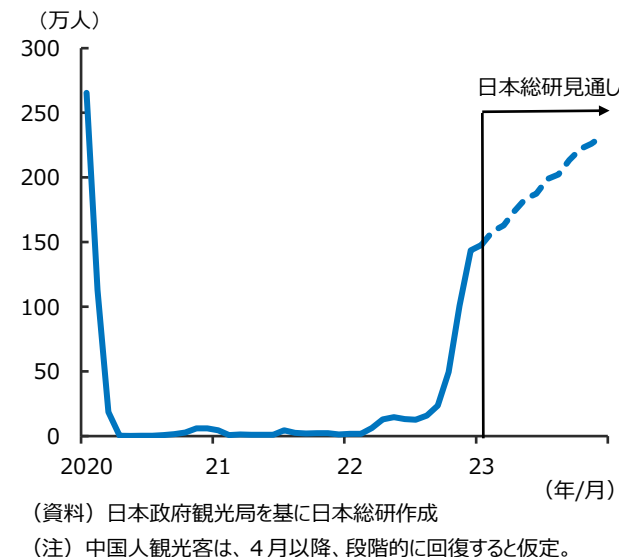
地域別実質輸出（季調値）



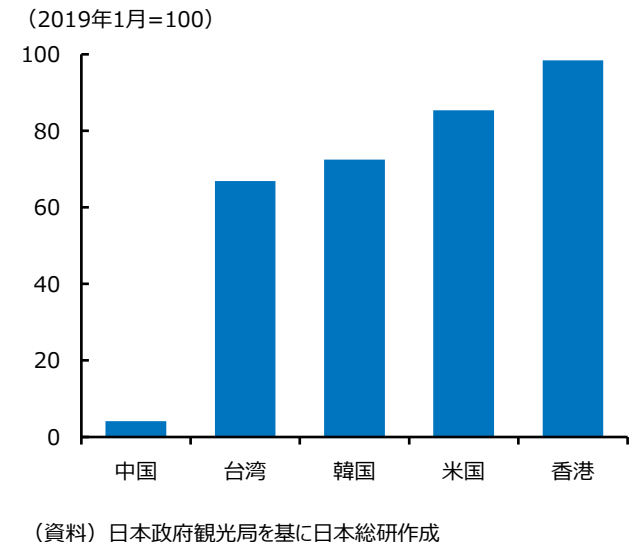
中国の製造業PMI



訪日外国人数（季調値）



1月の訪日外国人（地域別）



■ 高水準の企業収益のもとで、設備投資は増加基調

◆ 企業収益は業種ごとでばらつき

法人企業統計によると、2022年10～12月期の経常利益は22兆円と高水準ながらも2四半期連続の減益。製造業では、既往の資源高や円安によるコスト増が重石となっており、素材業種を中心に大幅な減益に。一方、非製造業では、サービス消費やインバウンド需要の回復を受け増益。

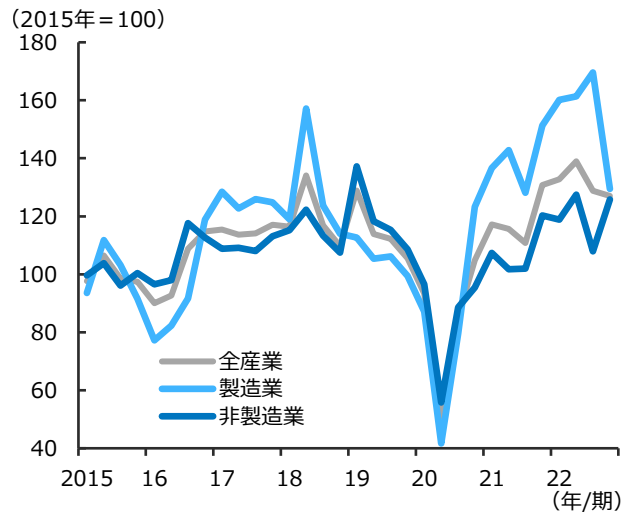
先行き、企業収益は高水準で推移する見通し。経済活動の正常化に伴い非製造業の収益が一段と改善する見込み。製造業の収益は、円安や資源高の一服でコスト増加圧力は和らぐ方向にあるものの、輸出の不振などを背景に、弱含む見込み。

◆ 設備投資への積極的な姿勢は不変

設備投資は緩やかに増加。法人企業統計によると、2022年10～12月期の設備投資は前期比+0.5%と5四半期連続の増加。需要が回復している対面型サービス業を中心に設備投資を再開する動き。

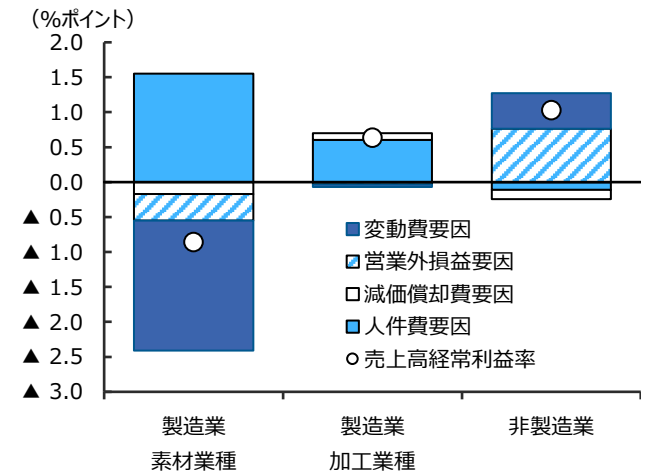
先行きの設備投資も増加する見通し。企業行動に関するアンケート調査によると、今後3年で設備投資を増やすと答えた企業の割合は75.4%と1990年度以来の高水準となっており、企業の設備投資意欲は旺盛。脱炭素やデジタル化に関連した投資がけん引役に。ただし、海外経済の減速により製造業の能力増強投資が抑制される見込み。実際、機械投資の先行指標となる機械受注は、製造業で弱い動きに。

経常利益（全規模、季調値）



(資料) 財務省を基に日本総研作成

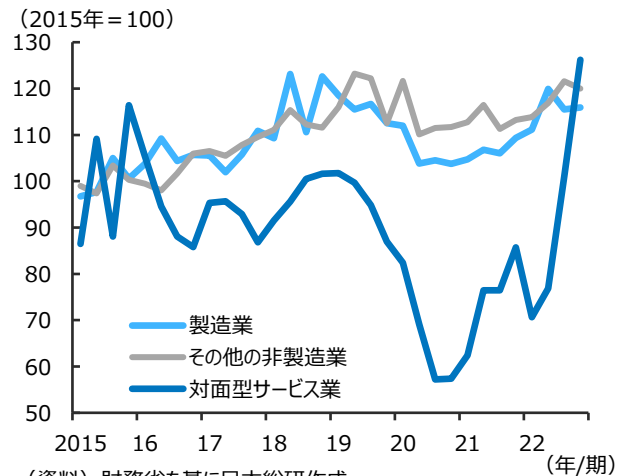
売上高経常利益率の変化の要因分解



(資料) 財務省を基に日本総研作成

(注) 2022年10～12月期と2018年10～12月期の差。

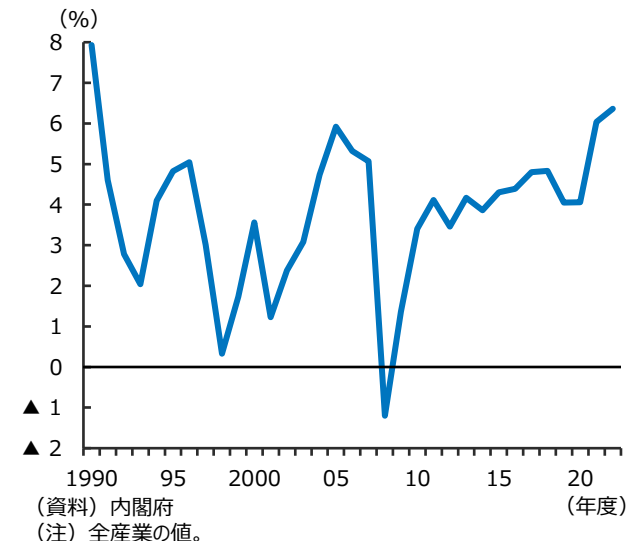
ソフトウェアを含む設備投資（全規模、季調値）



(資料) 財務省を基に日本総研作成

(注) 対面型サービス業は、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業。

今後3年間の設備投資の増減率見通し



(資料) 内閣府

(注) 全産業の値。

雇用情勢は改善傾向、先行きは大企業を中心に賃上げ

◆人手不足が深刻化

雇用情勢は改善傾向。2023年1月の就業者数は、前月比+18万人増加。インバウンド需要の回復などを受けた対面型サービス業への需要増加を背景に、非正規雇用者数は、コロナ前水準近くまで回復。失業率は2.4%とコロナ前の2020年初の水準まで低下しており、労働需給がひっ迫。

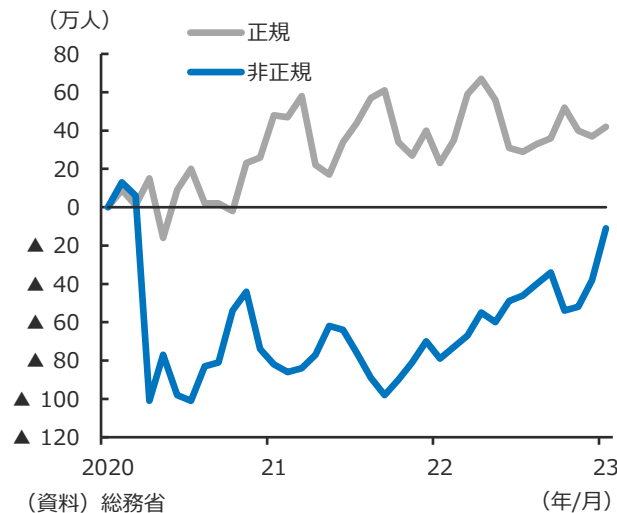
先行き、経済活動の正常化が一段と進むことに伴い、人手不足が深刻化する見込み。労働力率はすでにコロナ前の水準を上回っており、女性や高齢者の新たな労働市場参入による追加的な労働供給の余地は限定的。

◆大企業を中心に賃上げの動き

2023年1月の現金給与総額は前年比+1.0%と引き続き増加。一般労働者が+1.1%、パートタイム労働者（時給）が+2.5%とともに増加。ただし、実質賃金は、▲3.8%と10ヵ月連続のマイナス。

先行きは、賃金が上昇し、実質賃金のマイナス幅は縮小する見込み。人手不足や物価高を踏まえたベアの広がりを受けて正社員の基本給が増加する見込み。2023年の春闘賃上げ率は、昨年を0.8%ポイント上回る+3.0%と予想。非正規雇用の賃金も、人手不足の強まりや最低賃金引き上げの影響で伸びを高める見込み。ただし、収益環境の改善が遅れている中小企業では当面慎重な賃金設定スタンスが維持される見通し。

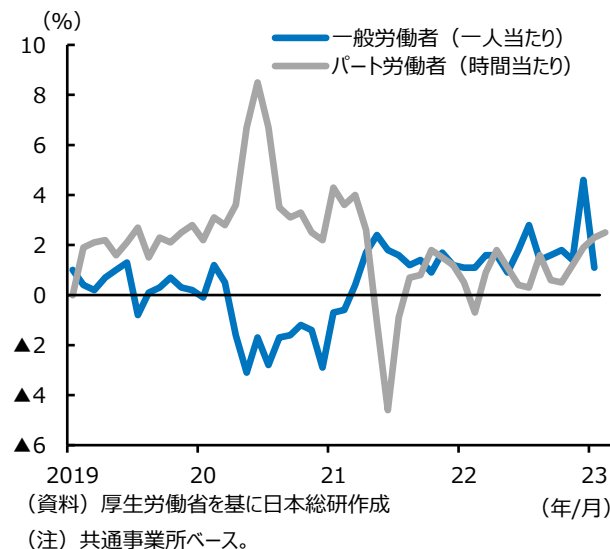
雇用形態別雇用者数（季調値）



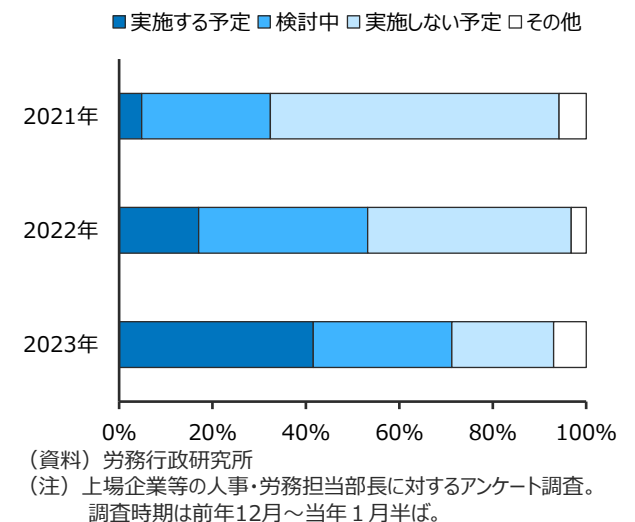
失業率（季調値）



名目賃金（前年比）



自社のベースアップ状況



コロナ禍からの挽回消費が続き、個人消費は回復基調

◆個人消費は回復基調

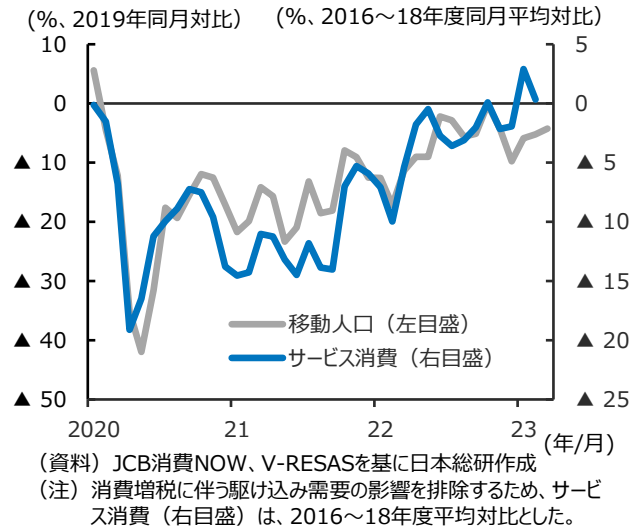
個人消費は回復。旅行、外出などのサービス消費が回復をけん引。3年ぶりとなる各種催事の復活が相次ぎ、人出の回復に寄与しているほか、旅行支援策も追い風に。財消費も堅調に推移。供給制約の緩和に伴う乗用車販売の増加が消費全体を押し上げ。

◆コロナ禍からの挽回消費が続く

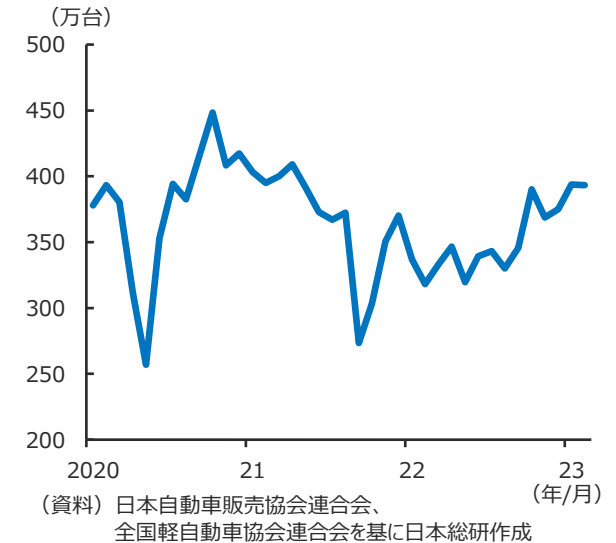
先行きの個人消費は、緩やかに回復する見込み。家計の平均消費性向は、依然としてコロナ前の水準を下回っており、消費の拡大余地は大。新型コロナの感染症法上の位置づけが5月8日から「5類」へ引き下げられるなど、ウィズコロナの生活様式が定着し、感染を警戒した消費活動の自粛が縮小することで、消費性向は上昇する見通し。大手企業を中心とした賃金引き上げの動きも消費回復を下支えする見込み。

消費者が実感するインフレ率が2008年以来となる10%に達しているものの、先行きの消費を減らすと回答した消費者の割合は、2008年に比べ限定的。そのため、物価高が家計の購買力を下押しするなかでも、個人消費の回復基調は崩れない見込み。

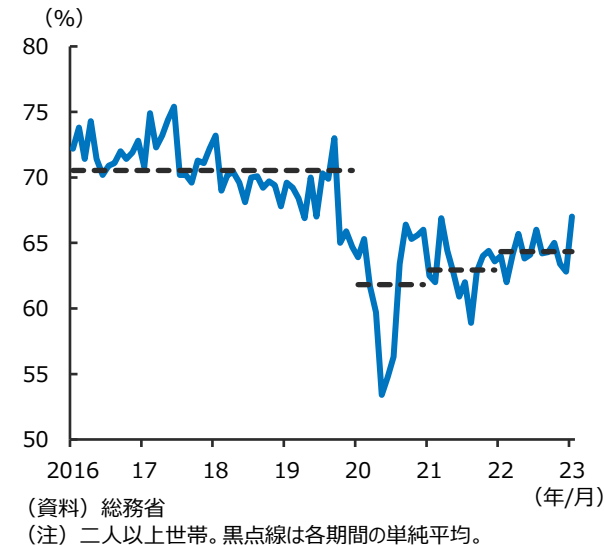
移動人口とサービス消費



新車登録台数 (年率季調値)



勤労者世帯の消費性向 (季調値)



実感物価と消費意欲



トピックス①：中小企業の賃上げ余力は限定的

◆収益力と労働分配率の引き上げ余地に差

歴史的な物価高が続くなかで賃上げの機運が高まっているものの、今年の春闘では、中小企業の賃上げ率は、大企業に比べ低くなる見込み。これは、以下の2つの点から、中小企業の賃上げ余力が限られているため。

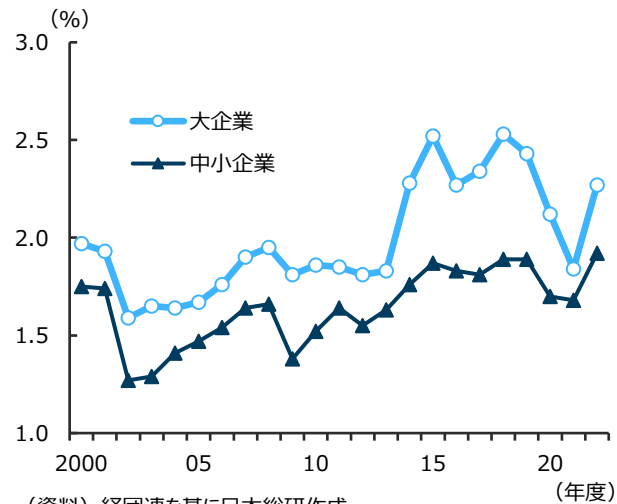
第1に、収益力格差の拡大。海外事業の割合が総じて大きい大企業では、円安により収益が押し上げられた一方、中小企業では、円安や資源高による輸入コストの上昇を価格転嫁する動きが乏しく、収益を圧迫。

第2に、労働分配率の引き上げ余地の違い。大企業では、付加価値が着実に増加するなかでも、株主還元を重視する欧米型の経営スタイルの浸透などにより、人件費が長年抑制されてきた分、賃金の引き上げ余地は大。一方、中小企業では、労働分配率があまり低下しておらず、賃金の引き上げ余地は小。

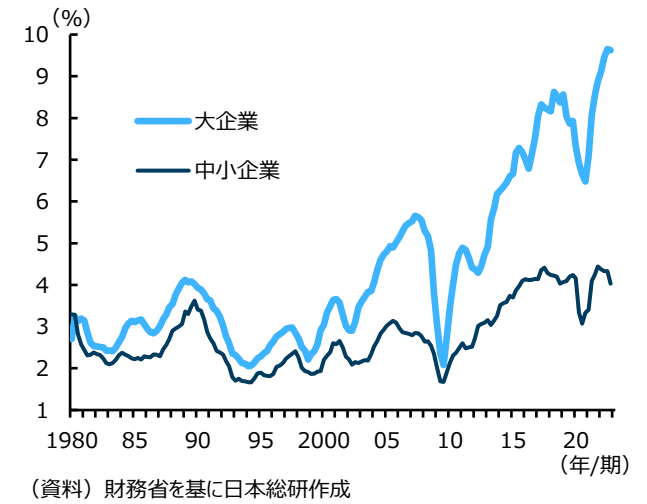
◆生産性向上と適切な価格転嫁が不可欠

今春闘を契機に大企業の賃金が上昇すれば、大企業以上に人手不足が深刻な中小企業にも賃上げ圧力が波及すると予想。中小企業が賃上げ原資を確保するためには、①デジタル化などによる労働生産性の向上や、②人件費を含めたコスト増加を適切に価格転嫁できる環境づくりが必要。

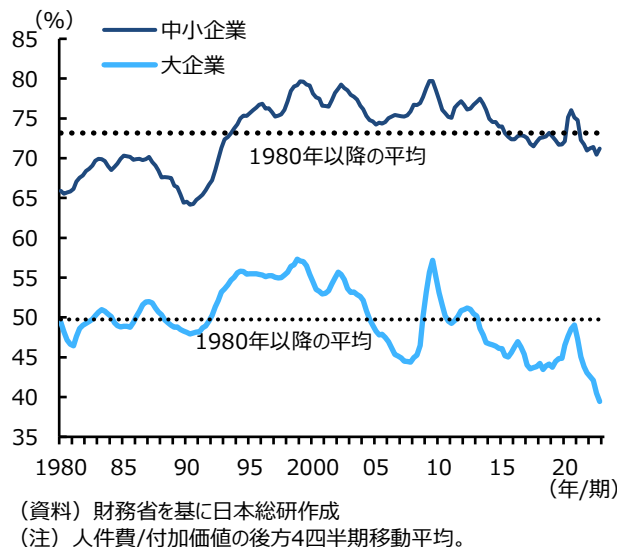
大企業と中小企業の賃上げ率



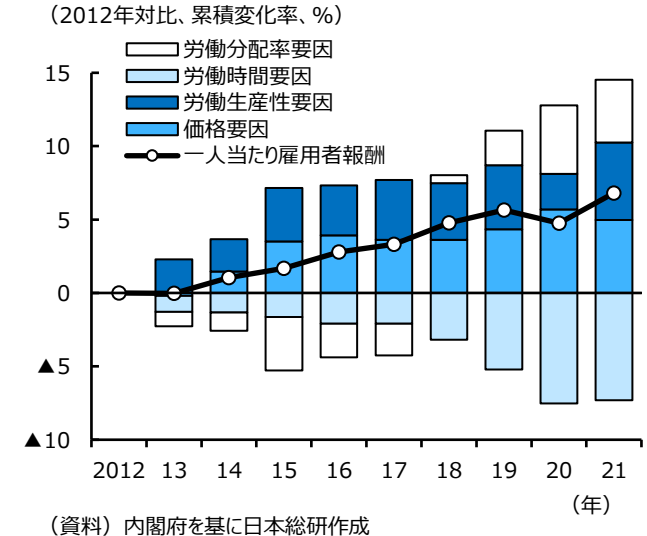
売上高経常利益率



労働分配率



一人当たり雇用者報酬の要因分解



トピックス②：企業・家計の mindset 変化で値上げ品目に広がり

◆値上げ品目に広がり

わが国では、値上げの動きが拡大。価格上昇率の品目別分布をみると、財では上昇率が2桁の品目の構成比が2割程度まで増加。サービスでも上昇率がゼロ%台の品目が大きく減少し、上昇品目が増加。

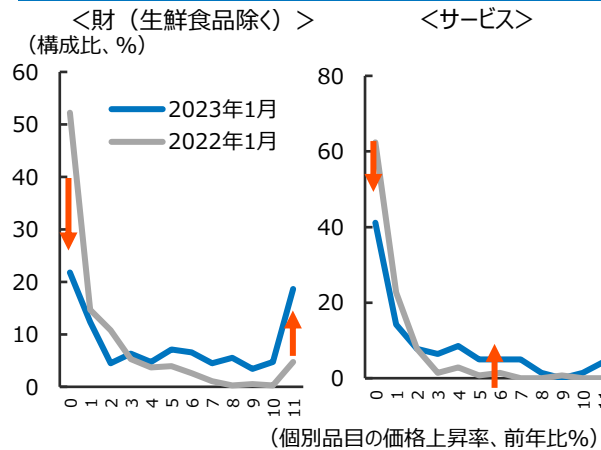
◆企業・家計 mindset の変化

値上げ品目が広がっている背景として、以下の2点を指摘可能。

第1に、企業の価格転嫁姿勢が強まったこと。企業は現在のコスト高が今後も続くとの見方を強めていると考えられ、販売価格を中長期的に引き上げる意向。日銀短観によれば、企業による5年後の販売価格見通しは、全産業で+4.3%とコロナ前から大きく上昇。製造業だけでなく、小売業や対面型サービス業といった川下の産業でも価格引き上げ姿勢が顕著。

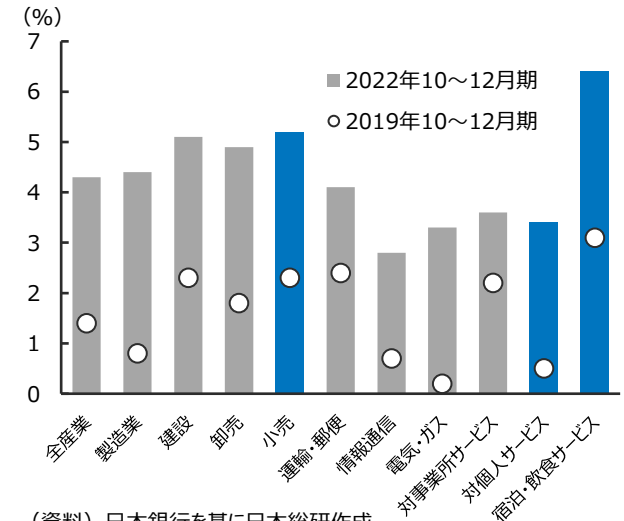
第2に、家計の値上げ容認姿勢が強まったこと。今次局面のインフレはウクライナ侵攻という有事が一因であり、値上げ致し方なしとの捉え方が多かったことが、企業の価格転嫁を後押しした可能性。日銀のアンケート調査によれば、値上げを困ったことと回答する割合が、2000年代後半の価格高騰期に比べて抑制。家計の中長期的な予想インフレ率も高まっており、値上げを受容せざるを得ないとの認識の強まりを示唆。

消費者物価上昇率の頻度分布



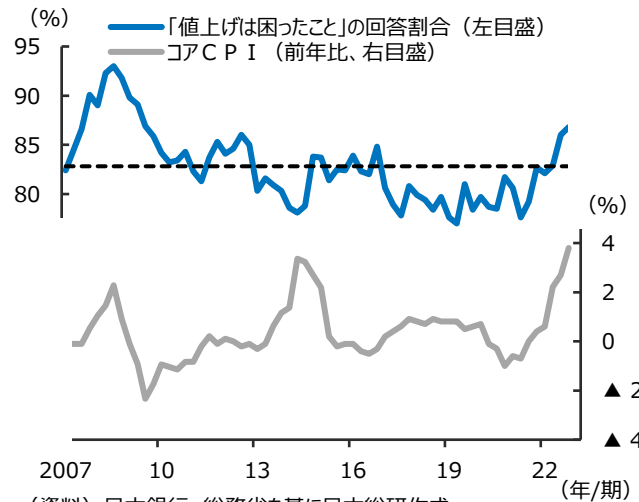
（資料）総務省を基に日本総研作成
（注）ヒストグラムの幅は1%ポイント（中心が1%の範囲は前年比0.5%～1.5%）。ヒストグラム左端は0.5%未満、右端は10.5%以上の品目の割合。

企業の販売価格見通し（全規模、5年後）



（資料）日本銀行を基に日本総研作成

値上げに対する家計の反応とコアCPI



（資料）日本銀行、総務省を基に日本総研作成
（注）図中の黒点線は2007年～2022年の平均。

家計の予想インフレ率（今後5年間）



（資料）日本銀行を基に日本総研作成

トピックス③：サービス分野に広がる値上げの動き

◆原材料コストの高騰が主因

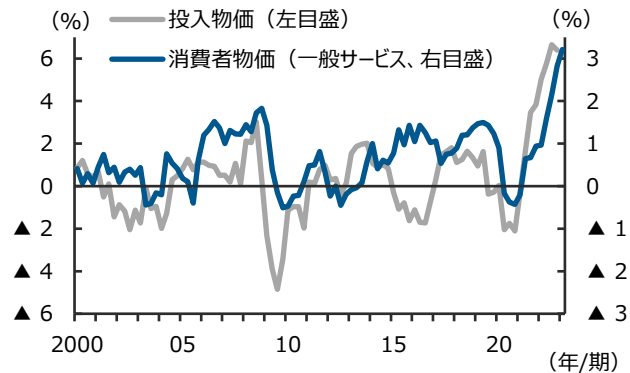
値上げの動きがサービス分野にも拡大。消費者物価のうち一般サービス（家賃、政策要因を除く）は前年比+3%超と1993年4月以来の上昇幅に。これは、原材料コストの増大が価格転嫁されていることが背景。産業連関表や賃金・企業物価を用いた試算によると、サービス業の投入物価は足元で前年比+5%超と、この20年間で最大の伸び。

これは、中間投入している財やサービスの価格高騰を反映したもの。サービス業の中間投入の内訳をみると、人件費が5割に達するほか、食料品などを中心に財も2割程度を占める状況。電力・ガスの投入割合も他の産業と変わらない水準。こうした財やサービスを多く投入している外食や住居関連サービスなどでの価格上昇率が大。

◆今後は賃金上昇が価格上昇圧力に

今後は人件費の増加がサービス価格の主たる上昇圧力となる見込み。サービス業では、コロナ禍からのリバウンド需要が増加する一方、雇用が十分に戻っておらず、労働需給がひっ迫。賃金が上昇に転じており、たとえば、飲食サービス関連では非正規雇用の時給は前年比+5%台へと伸びが加速。春闘では、大企業を中心に例年以上のベースアップが実施される見込みであり、正規雇用の賃金も上昇する見込み。そのため、今後は外食や住居関連以外のサービス業にも値上げの動きが広がる可能性。

サービスの投入物価と消費者物価（前年比）

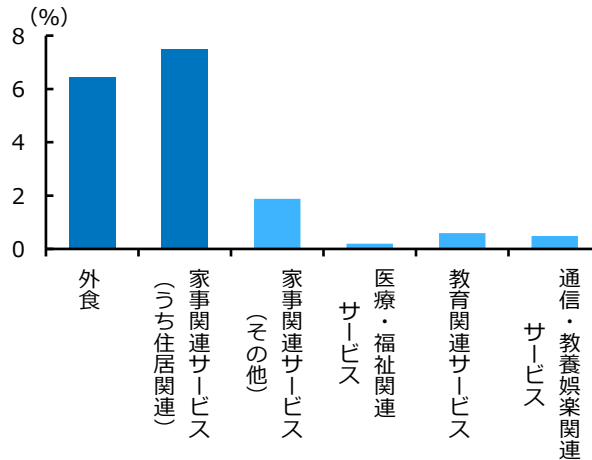


(資料) 総務省、日本銀行などを基に日本総研作成

(注1) 投入物価は、産業連関表の投入ウェイトに物価・賃金変化率をじて算出。対象業種は、教育・研究、医療・福祉、対個人サー

(注2) 消費者物価は、一般サービスのうち、民営家賃、持家の帰属家宿泊費、通信料(携帯電話)と、消費税の影響を除く。

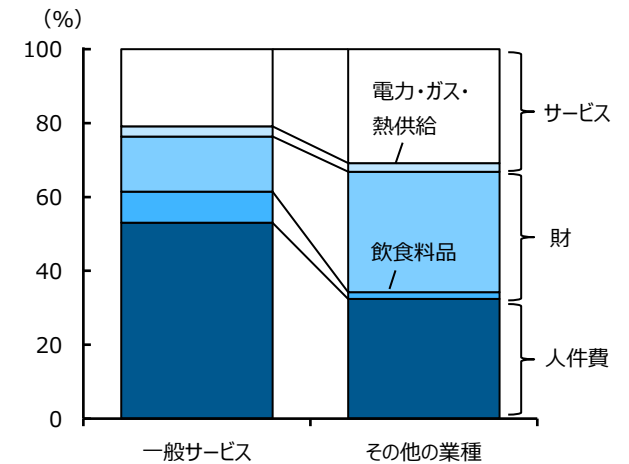
一般サービスの消費者物価の内訳（前年比）



(資料) 総務省を基に日本総研作成

(注) 2023年1月の値。通信・教養娯楽関連サービスは、宿泊費、通信料(携帯電話)を除く。

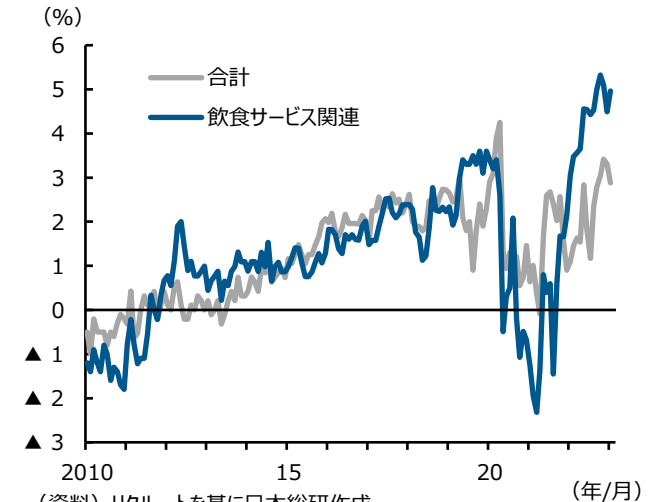
中間投入の内訳



(資料) 総務省を基に日本総研作成

(注) 一般サービスは、教育・研究、医療・福祉、対個人サービス。

アルバイト・パート募集時平均時給（前年比）



(資料) リクルートを基に日本総研作成

(注) 三大都市圏のデータ。

サービス分野のリバウンド需要を中心に景気は回復へ

◆経済活動の正常化が景気を後押し

先行きを展望すると、経済活動の正常化が一段と進むことで、サービス分野のリバウンド需要を中心に、わが国の景気は回復する見通し。コロナ感染を警戒した消費活動の自粛傾向が薄らぐことで、個人消費の回復が続く見通し。今年の春闘では、大企業を中心に例年以上のベースアップが実施される見込みであり、賃金上昇が物価高の悪影響を減殺すると予想。インバウンド需要も引き続き増加する見通し。中国からの観光客は、日中両国の規制緩和が進むにつれて、本格回復に向かう見込み。

ただし、欧米を中心とする海外経済の減速が景気の重石となる見込み。財輸出は力強さを欠く展開が予想されるほか、製造業の設備投資が抑制される見込み。

◆2023年度の成長率は+1.5%

2022年度の成長率は+1.4%、2023年度は+1.5%と、コロナ禍からのリバウンドで高めのプラス成長となる見込み。2024年度は+1.3%と、ゼロ%台半ばの潜在成長率を上回る見通し。

わが国主要経済指標の予測値（2023年3月13日時点）

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2022年	2023年				2024年				2025年	2022年度			2023年度			2024年度		
	10~12 (実績)	1~3 (予測)	4~6 (予測)	7~9 (予測)	10~12 (予測)	1~3 (予測)	4~6 (予測)	7~9 (予測)	10~12 (予測)	1~3 (予測)	2022年度 (予測)	2023年度 (予測)	2024年度 (予測)	2022年度 (予測)	2023年度 (予測)	2024年度 (予測)	2022年度 (予測)	2023年度 (予測)	2024年度 (予測)
実質GDP	0.1	3.9	1.8	1.2	1.1	1.3	1.3	1.5	1.6	1.7	1.4	1.5	1.3	1.4	1.5	1.3	1.4	1.5	1.3
個人消費	1.3	2.8	2.4	1.2	1.0	1.2	1.5	1.6	1.6	1.7	2.5	1.7	1.4	2.5	1.7	1.4	2.5	1.7	1.4
住宅投資	▲0.0	3.0	2.5	0.8	0.2	0.0	▲0.1	0.0	▲0.1	0.0	▲4.3	1.3	0.1	▲4.3	1.3	0.1	▲4.3	1.3	0.1
設備投資	▲2.0	0.8	1.5	2.8	3.2	3.0	2.8	2.7	2.6	2.6	2.8	1.8	2.8	2.8	1.8	2.8	2.8	1.8	2.8
在庫投資 (寄与度)	(▲2.1)	(0.7)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(▲0.1)	(▲0.0)	(0.1)	(▲0.1)	(▲0.0)	(0.1)	(▲0.1)	(▲0.0)
政府消費	1.0	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	1.1	0.2	0.0	1.1	0.2	0.0	1.1	0.2	0.0
公共投資	▲1.2	3.0	3.0	1.6	1.4	1.2	1.2	1.0	0.8	0.8	▲3.4	1.9	1.1	▲3.4	1.9	1.1	▲3.4	1.9	1.1
純輸出 (寄与度)	(1.4)	(1.3)	(▲0.1)	(▲0.2)	(▲0.1)	(▲0.0)	(▲0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.2)	(▲0.5)	(0.1)	(▲0.0)	(▲0.5)	(0.1)	(▲0.0)	(▲0.5)	(0.1)	(▲0.0)
輸出	6.0	1.3	1.6	1.5	1.8	2.3	2.0	3.3	3.5	4.0	5.3	2.6	2.6	5.3	2.6	2.6	5.3	2.6	2.6
輸入	▲1.6	▲3.8	2.0	2.2	2.1	2.3	2.4	2.5	2.5	2.6	7.4	1.7	2.4	7.4	1.7	2.4	7.4	1.7	2.4

(前年同期比、%)

名目GDP	1.6	4.0	3.1	4.3	3.9	2.6	2.6	3.0	2.5	2.8	2.1	3.5	2.7
GDPデフレーター	1.2	2.0	1.8	2.6	2.0	1.2	1.4	1.7	1.1	1.2	0.6	1.9	1.4
消費者物価指数 (除く生鮮)	3.8	3.6	2.6	1.6	1.6	2.1	2.3	2.5	1.5	1.4	3.1	2.0	1.9
(除く生鮮、エネルギー)	2.8	3.6	3.2	2.1	1.3	1.1	1.1	1.4	1.6	1.7	2.2	1.9	1.5
鉱工業生産	▲0.3	▲1.0	5.1	0.1	3.0	4.7	1.6	1.5	1.5	2.2	▲0.2	3.2	1.7

完全失業率 (%)	2.5	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2	2.5	2.3	2.2
経常収支 (兆円)	1.57	1.9	1.4	3.2	3.7	4.6	5.1	3.2	2.2	4.7	8.5	12.8	15.2
対名目GDP比 (%)	1.1	1.3	1.0	2.3	2.4	3.1	3.5	2.2	1.4	3.2	1.5	2.2	2.5
円ドル相場 (円/1ドル)	141	133	133	131	129	128	126	124	122	122	136	130	124
原油輸入価格 (ドル/1バレル)	99	86	88	90	90	92	92	91	90	89	102	90	91

(資料) 内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを基に日本総研作成

海外経済の前提

(前年比、%)

	2022年	2023年	2024年
		(予測)	
米国	2.1	1.2	1.3
ユーロ圏	3.5	0.6	0.7
中国	3.0	5.3	4.8

過去の実質GDP予測値

(前年比、%)

	2022年度	2023年度	2024年度
	(予測)		
12月号	1.7	1.5	1.3
1月号	1.7	1.5	1.3
2月号	1.6	1.5	1.3

価格転嫁は川下に波及、年前半の消費者物価を押し上げ

◆川下の業種にも広がる価格転嫁の動き

1月のコアCPIは前年比+4.2%と41年ぶりの高い伸びに。全国旅行支援の割引率縮小が押し上げに寄与し、前月から伸びが加速。

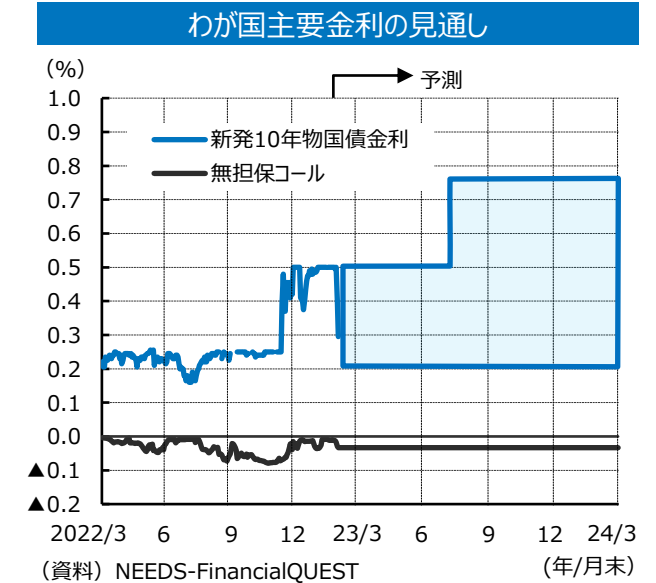
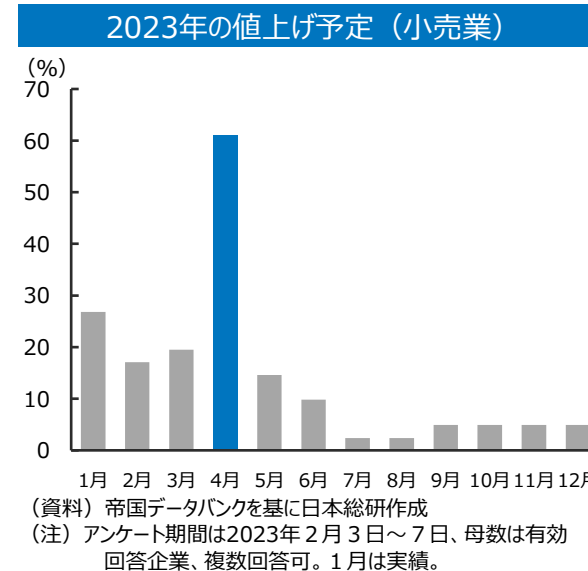
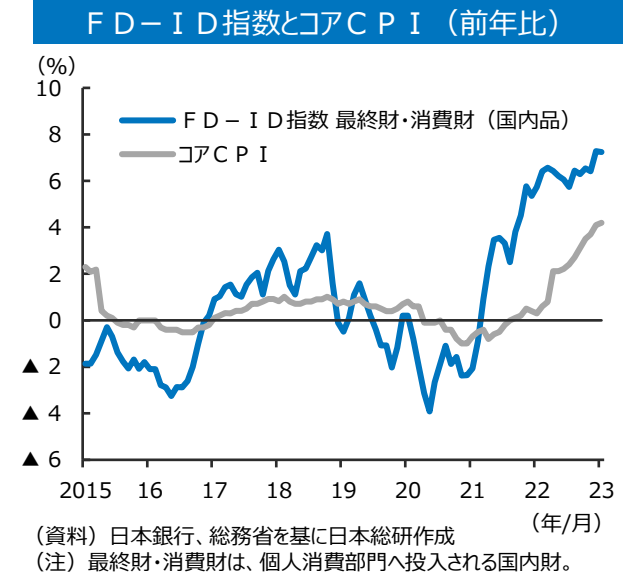
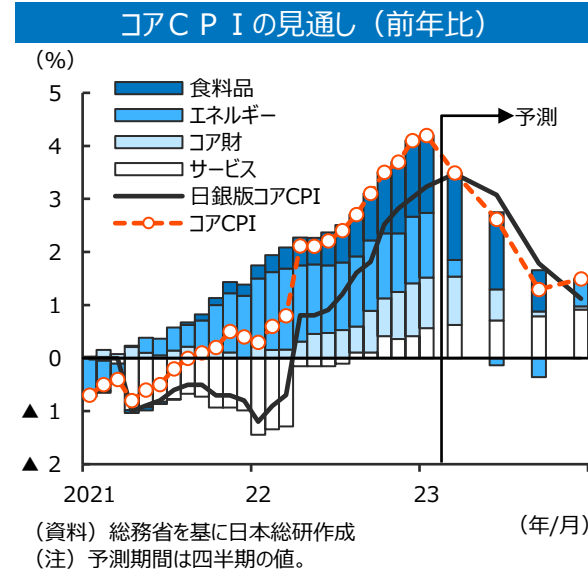
2月以降、コアCPIは伸びが鈍化する見込み。電気・ガス代の負担軽減策がエネルギー価格を押し下げることが主因。一方、生鮮食品とエネルギーを除いた日銀版コアCPIの伸びは春ごろにかけて加速すると予想。川下の業種にも価格転嫁の動きが波及していることが背景。企業間で取引される消費財価格は、1月に前年比+7.2%と高めの伸びが持続。こうした仕入れコストの上昇を受けて、小売業では本年4月に値上げが集中する見込み。

2023年後半には、原材料高による価格上昇が落ち着く一方、賃金上昇によるインフレ圧力が徐々に強まる見込み。

◆変動許容幅拡大で長期金利は上昇へ

日銀は、3月の金融政策決定会合で、金融政策の現状維持を決定。長期金利は、金融政策の再修正観測の強まりを背景に、2月上旬にかけて上昇。その後、日銀が上限と位置付ける0.5%で推移。

先行きを展望すると、日銀は市場機能の改善を理由に、夏場にかけて再び長期金利の変動許容幅を±0.75%に拡大すると予想。これに伴い、長期金利は+0.5%超で推移する見通し。



内外市場データ (月中平均)

	短期金利	1-0円 (TIBOR)		円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担O/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/Eur (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	F F O/N (%)	1-0 3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	N Y ダウ 工業株 (ドル)	1-0 3ヵ月 (%)	10年国債 (%)
19/5	▲ 0.05	0.05	0.10	▲ 0.03	▲ 0.02	0.12	▲ 0.16	▲ 0.06	1.48	1.00	109.98	122.99	21218.38	1547.17	2.39	2.53	2.39	25744.79	▲ 0.31	▲ 0.08
19/6	▲ 0.06	0.04	0.10	▲ 0.08	▲ 0.09	0.04	▲ 0.21	▲ 0.13	1.48	1.00	108.07	122.06	21060.21	1540.08	2.38	2.40	2.07	26160.10	▲ 0.33	▲ 0.27
19/7	▲ 0.07	0.04	0.11	▲ 0.09	▲ 0.10	0.03	▲ 0.20	▲ 0.14	1.48	0.96	108.25	121.38	21593.68	1573.16	2.40	2.29	2.05	27089.19	▲ 0.37	▲ 0.34
19/8	▲ 0.05	0.04	0.09	▲ 0.13	▲ 0.15	▲ 0.06	▲ 0.27	▲ 0.22	1.48	0.95	106.23	118.16	20629.68	1501.08	2.13	2.16	1.62	26058.23	▲ 0.41	▲ 0.63
19/9	▲ 0.06	0.01	0.06	▲ 0.13	▲ 0.15	▲ 0.04	▲ 0.29	▲ 0.22	1.48	0.95	107.51	118.34	21585.46	1579.13	2.04	2.13	1.69	26900.21	▲ 0.42	▲ 0.57
19/10	▲ 0.03	0.01	0.05	▲ 0.13	▲ 0.13	0.00	▲ 0.27	▲ 0.16	1.48	0.95	108.16	119.61	22197.47	1617.12	1.83	1.98	1.70	26736.80	▲ 0.41	▲ 0.45
19/11	▲ 0.05	0.02	0.05	▲ 0.06	▲ 0.05	0.06	▲ 0.20	▲ 0.09	1.48	0.95	108.91	120.32	23278.09	1697.37	1.55	1.90	1.82	27797.05	▲ 0.40	▲ 0.33
19/12	▲ 0.04	0.02	0.05	▲ 0.01	0.01	0.11	▲ 0.12	▲ 0.01	1.48	0.95	109.11	121.26	23660.38	1724.59	1.55	1.91	1.86	28167.01	▲ 0.40	▲ 0.27
20/1	▲ 0.03	0.02	0.09	▲ 0.00	0.00	0.09	▲ 0.13	▲ 0.01	1.48	0.95	109.28	121.00	23642.92	1719.06	1.55	1.82	1.76	28879.99	▲ 0.39	▲ 0.27
20/2	▲ 0.02	0.02	0.09	▲ 0.06	▲ 0.07	0.01	▲ 0.16	▲ 0.06	1.48	0.95	110.03	120.35	23180.37	1669.97	1.58	1.68	1.51	28519.73	▲ 0.41	▲ 0.43
20/3	▲ 0.05	0.01	0.08	▲ 0.11	▲ 0.11	▲ 0.03	▲ 0.21	▲ 0.02	1.48	0.95	107.69	119.08	18974.00	1385.57	0.65	1.10	0.88	22637.42	▲ 0.42	▲ 0.52
20/4	▲ 0.04	▲ 0.00	0.09	▲ 0.04	▲ 0.05	0.02	▲ 0.14	0.01	1.48	1.06	107.80	117.18	19208.36	1412.35	0.05	1.09	0.65	23293.90	▲ 0.25	▲ 0.43
20/5	▲ 0.04	▲ 0.04	0.07	▲ 0.04	▲ 0.05	0.02	▲ 0.15	▲ 0.00	1.48	1.06	107.22	116.93	20543.26	1488.06	0.05	0.40	0.67	24271.02	▲ 0.27	▲ 0.50
20/6	▲ 0.05	▲ 0.05	0.05	▲ 0.03	▲ 0.03	0.06	▲ 0.14	0.02	1.48	1.05	107.61	121.14	22486.93	1585.75	0.08	0.31	0.72	26062.27	▲ 0.38	▲ 0.40
20/7	▲ 0.04	▲ 0.07	▲ 0.02	▲ 0.04	▲ 0.04	0.04	▲ 0.13	0.03	1.48	1.05	106.72	122.44	22529.47	1560.76	0.09	0.27	0.62	26385.83	▲ 0.44	▲ 0.46
20/8	▲ 0.04	▲ 0.07	▲ 0.02	▲ 0.03	▲ 0.03	0.05	▲ 0.11	0.04	1.48	1.01	106.05	125.44	22901.45	1595.08	0.10	0.25	0.65	27821.37	▲ 0.48	▲ 0.47
20/9	▲ 0.05	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.05	▲ 0.04	0.04	▲ 0.13	0.03	1.48	1.00	105.61	124.48	23306.95	1632.81	0.09	0.24	0.68	27733.40	▲ 0.49	▲ 0.49
20/10	▲ 0.04	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.05	▲ 0.04	0.05	▲ 0.12	0.03	1.48	1.00	105.21	123.80	23451.44	1629.03	0.09	0.22	0.78	28005.10	▲ 0.51	▲ 0.57
20/11	▲ 0.04	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.05	▲ 0.04	0.04	▲ 0.13	0.03	1.48	1.00	104.41	123.60	25384.87	1714.50	0.09	0.22	0.87	29124.04	▲ 0.52	▲ 0.57
20/12	▲ 0.04	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.05	▲ 0.04	0.04	▲ 0.12	0.02	1.48	1.00	103.76	126.32	26772.95	1780.72	0.09	0.23	0.92	30148.58	▲ 0.54	▲ 0.57
21/1	▲ 0.03	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.06	▲ 0.04	0.05	▲ 0.12	0.04	1.48	1.00	103.72	126.29	28189.06	1842.18	0.09	0.22	1.06	30821.35	▲ 0.55	▲ 0.53
21/2	▲ 0.03	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.04	▲ 0.01	0.12	▲ 0.11	0.09	1.48	1.00	105.37	127.44	29458.80	1911.21	0.08	0.19	1.24	31283.91	▲ 0.54	▲ 0.39
21/3	▲ 0.03	▲ 0.06	▲ 0.05	▲ 0.04	0.00	0.14	▲ 0.13	0.11	1.48	1.00	108.72	129.37	29315.30	1947.82	0.07	0.19	1.60	32373.29	▲ 0.54	▲ 0.32
21/4	▲ 0.03	▲ 0.07	▲ 0.05	▲ 0.03	0.00	0.13	▲ 0.12	0.10	1.48	1.00	109.03	130.52	29426.75	1941.37	0.07	0.18	1.62	33803.29	▲ 0.54	▲ 0.28
21/5	▲ 0.04	▲ 0.07	▲ 0.05	▲ 0.03	0.00	0.12	▲ 0.12	0.09	1.48	1.00	109.15	132.61	28517.09	1908.12	0.06	0.15	1.61	34270.31	▲ 0.54	▲ 0.17
21/6	▲ 0.04	▲ 0.07	▲ 0.05	▲ 0.03	▲ 0.01	0.10	▲ 0.11	0.06	1.48	1.00	110.15	132.63	28943.23	1953.44	0.08	0.13	1.51	34289.91	▲ 0.54	▲ 0.21
21/7	▲ 0.05	▲ 0.07	▲ 0.05	▲ 0.03	▲ 0.03	0.05	▲ 0.12	0.03	1.48	1.00	110.23	130.35	28118.76	1931.88	0.10	0.13	1.31	34798.80	▲ 0.55	▲ 0.35
21/8	▲ 0.05	▲ 0.07	▲ 0.05	▲ 0.02	▲ 0.02	0.05	▲ 0.12	0.02	1.48	1.00	109.84	129.27	27692.73	1931.13	0.09	0.12	1.28	35243.97	▲ 0.55	▲ 0.46
21/9	▲ 0.03	▲ 0.07	▲ 0.05	▲ 0.00	0.01	0.09	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	110.17	129.62	29893.57	2063.04	0.08	0.12	1.36	34688.42	▲ 0.55	▲ 0.30
21/10	▲ 0.04	▲ 0.07	▲ 0.05	0.01	0.04	0.14	▲ 0.10	0.09	1.48	1.00	113.17	131.28	28586.20	1991.44	0.08	0.13	1.58	35055.52	▲ 0.55	▲ 0.15
21/11	▲ 0.05	▲ 0.07	▲ 0.05	0.01	0.03	0.12	▲ 0.11	0.07	1.48	1.00	114.06	130.12	29370.61	2022.87	0.08	0.16	1.56	35848.57	▲ 0.57	▲ 0.25
21/12	▲ 0.04	▲ 0.05	▲ 0.05	0.00	0.02	0.11	▲ 0.10	0.06	1.48	1.00	113.93	128.84	28514.23	1976.98	0.08	0.21	1.46	35641.33	▲ 0.58	▲ 0.31
22/1	▲ 0.04	▲ 0.05	▲ 0.03	0.00	0.02	0.11	▲ 0.07	0.14	1.48	1.00	114.86	130.00	27903.99	1954.51	0.08	0.26	1.76	35456.14	▲ 0.56	▲ 0.06
22/2	▲ 0.04	▲ 0.05	▲ 0.03	0.00	0.02	0.11	▲ 0.03	0.21	1.48	1.08	115.23	130.70	27066.53	1917.67	0.08	0.43	1.93	34648.48	▲ 0.53	0.21
22/3	▲ 0.03	▲ 0.05	▲ 0.03	0.00	0.02	0.11	▲ 0.03	0.20	1.48	1.10	118.70	130.77	26584.08	1885.51	0.20	0.84	2.12	34029.74	▲ 0.50	0.33
22/4	▲ 0.03	▲ 0.05	▲ 0.00	0.00	0.02	0.11	▲ 0.05	0.24	1.48	1.10	126.41	136.53	27043.33	1902.34	0.33	1.11	2.75	34314.99	▲ 0.45	0.79
22/5	▲ 0.03	▲ 0.05	▲ 0.01	0.00	0.02	0.11	▲ 0.06	0.24	1.48	1.10	128.79	136.28	26653.77	1879.00	0.77	1.48	2.89	32379.46	▲ 0.39	1.00
22/6	▲ 0.04	▲ 0.01	0.02	0.00	0.02	0.11	▲ 0.06	0.24	1.48	1.18	134.15	141.71	26958.39	1895.96	1.21	2.00	3.13	31446.71	▲ 0.24	1.50
22/7	▲ 0.01	▲ 0.01	0.04	0.00	0.02	0.11	▲ 0.07	0.23	1.48	1.20	136.65	139.15	26986.74	1908.46	1.68	2.61	2.89	31535.32	0.04	1.14
22/8	▲ 0.02	▲ 0.02	▲ 0.02	0.00	0.02	0.11	▲ 0.09	0.20	1.48	1.20	135.36	137.02	28351.67	1964.16	2.33	2.95	2.89	33009.56	0.40	1.11
22/9	▲ 0.05	▲ 0.01	▲ 0.02	0.00	0.02	0.11	▲ 0.07	0.25	1.48	1.24	143.21	141.78	27418.99	1922.22	2.56	3.45	3.51	30649.56	1.01	1.83
22/10	▲ 0.05	▲ 0.02	▲ 0.02	0.00	0.02	0.11	▲ 0.04	0.25	1.48	1.25	147.13	144.84	26983.20	1894.99	3.08	4.14	3.97	30570.68	1.43	2.20
22/11	▲ 0.06	▲ 0.02	▲ 0.02	0.00	0.02	0.11	▲ 0.04	0.25	1.48	1.25	142.06	144.99	27903.32	1967.73	3.78	4.65	3.87	33417.96	1.83	2.07
22/12	▲ 0.06	▲ 0.01	▲ 0.01	0.00	0.02	0.11	0.00	0.33	1.48	1.25	134.90	142.86	27214.69	1934.71	4.10	4.74	3.62	33482.26	2.06	2.13
23/1	▲ 0.02	▲ 0.01	0.02	0.00	0.02	0.11	▲ 0.02	0.47	1.48	1.37	130.38	140.53	26606.28	1925.82	4.33	4.81	3.54	33656.00	2.35	2.22
23/2	▲ 0.02	▲ 0.01	0.03	0.00	0.02	0.11	▲ 0.03	0.50	1.48	1.48	133.12	142.47	27509.11	1985.51	4.57	4.89	3.75	33648.26	2.64	2.41